

令和6年度越谷市社会福祉審議会

第3回障害者福祉専門分科会 会議録

日時：令和7年2月20日（木）
15：30～16：30
場所：越谷市役所第三庁舎5階
会議室5・6

●障害者福祉専門分科会

○委員定数（17名）

○出席委員（11名）

高野 雅美	委員	越谷市手をつなぐ育成会
鈴木 美穂	委員	越谷公共職業安定所
高橋 忠	委員	越谷市歯科医師会
桑原 礼子	委員	やまびこ家族会
会田 真理子	委員	越谷市ボランティア連絡会
愛甲 悠二	委員	埼玉県立越谷特別支援学校
中根 陽子	委員	埼玉県障害難病団体協議会
小澤 昭彦	委員	埼玉県立大学保健医療福祉学社会福祉子ども学科
横内 浩一	委員	公募委員
根本 ひかり	委員	公募委員
高橋 良江	委員	公募委員

○欠席委員（6名）

村山 勝代	委員	越谷市民生委員・児童委員協議会
鈴木 弘子	委員	ロービジョン友の会アリス
松田 繁三	委員	越谷市医師会
岡野 昌彦	委員	越谷市医師会
望月 美恵子	委員	越谷市聴覚障害者協会
相澤 靖子	委員	埼玉県立越谷西特別支援学校

○事務局出席者（11名）

小田 大作	福祉部長
山崎 健晴	福祉部障害福祉課長
斉藤 秀樹	福祉部障害福祉課調整幹
黒沢 和人	福祉部障害福祉課副課長
近藤 陽介	福祉部障害福祉課副課長
高橋 成人	福祉部障害福祉課主幹
丸岡 龍介	福祉部障害福祉課主任
石井 達也	福祉部障害福祉課主事
金子 豊	子ども家庭部子ども福祉課長
市川 今日子	子ども家庭部子ども福祉課調整幹
野中 奈保子	子ども家庭部子ども福祉課主査

1 開会

開会后、事前送付資料、当日配布資料の確認を行った

次に、越谷市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定により、会議は委員過半数以上の出席で成立することを説明。障害者福祉専門分科会は委員総数17名のうち11名が出席しているので、会議が成立する旨を報告した。

2 議事

議事については、越谷市社会福祉審議会条例施行規則第6条第2項の規定に基づき、小澤分科会長が議長となり進行した。

また、本審議会が越谷市社会福祉審議会条例施行規則第5条の規定に基づき、原則公開であることを説明し、本日の傍聴希望者が1名であることを報告、入室を許可した。

報告事項

- (1) 第6次越谷市障がい者計画策定に関するアンケート調査結果等について事務局から参考資料、資料1、資料2に基づき説明を行った。

質疑等（要旨）

【委員】

アンケートについて、身体障がい者ということで、参考資料、問3で障がいの部位はどこかと聞いているが、この割合が出ていたら教えてほしい。

【事務局】

2ページ問3の部位ごとの割合については現在分析中のため、この場では回答することができない。

【委員】

アンケート調査結果の3ページ、発達障がいのアンケート調査対象はどのような方か。

私は子育て支援事業をしているが、上の娘が発達障がい、下の子が健常者の方から、私たちが活動するグループに参加できるかと聞かれたので、どうぞどうぞと来ていただいた。今までは発達障がいのお姉ちゃんがいるので下の子を幼稚園や保育所のグループと遊ばせるのは迷惑をかけると思い、外に出さなかったという話を聞いた。

【事務局】

0歳から17歳の発達障がい児については、総合福祉システムにより、サービスを受けている方の中から抽出した方を対象としている。

18歳以上についてはシステムからの抽出が困難なため、発達障がいの団体にアンケートの協力の依頼をさせていただき実施した。

【委員】

資料2について、こぼと館について簡単に説明をいただきたい。

もう1つ、団体意向調査をされたということだが、調査項目はどのようなものだったのか。

【事務局】

こぼと館は中央市民会館の1階にある。身体障がい者福祉センターのB型という位置づけで、障がい者に対して機能訓練や、教養の向上、レクリエーション、障がい者の方が集まってサロンを行ったり、手話通訳者養成講座を行ったり、様々な機能を持った施設で、指定管理で運営している。サークルや団体が施設を利用し活動するにはこぼと館に事前登録する必要がある。その登録団体に今回アンケートのご協力をお願いした。前回の計画時、5年前の調査のときも同様にこぼと館の登録団体にアンケートの協力を依頼したという経過がある。

調査で伺った内容としては、現在の市の施策に対する評価と、今後の市の施策に対する意見、団体の活動状況、活動における課題の4点について主に質問させていただいた。

【委員】

それに関しては、今回出ているような、書面調査とかヒアリングでこういう意見が出たという感じのまとめを見られるということか。それとも、アンケート調査結果のように結構細かなパーセントとか数字のような資料が出てくるのか。

【事務局】

団体意向調査については、細かい数値が出てくるような調査ではなく、普段どういふことされているのかというような取り組みや課題を記述式でご回答いただく調査になっているので、今回の報告書のようなかたちではなく、意見として受けとめさせていただいて、計画策定の資料にするということを考えている。

【委員】

アンケート調査結果の3ページ、知的障がいと発達障がいの0～17歳のパーセンテージが非常に高いのは、保護者からのアンケート回答と考えてよいか。

【事務局】

参考資料でアンケート調査で実際に使用した調査票をお配りしている。記入にあたってのお願いとして原則としてご本人に記入をお願いしているが、本人が回答しにくい、あるいはできない場合はご家族や介助される方がサポートしながら回答していただくをお願いをしている。その中で、知的障がいの0歳～17歳の方で誰がお答えになったかは分析できていないが、支援をしている方にもお答えいただいているものと想定している。

【委員】

先ほど質問が出たところではあるが、発達障がいアンケート対象者は、福祉サービスを現在受けている方ということでしょうか。

【事務局】

0～17歳の方については発達障がいに関するサービスを受けている方と捉えて問題ないかと思う。

【委員】

難病患者について、ベースに時間がなかったことや郵送料の問題があってアンケートをとったと思うが、回答数が100のうち10人というのは、期間が短かったのと、この調査票の多さというのでは、やはり難病の方にとってはすごく体力的にも負担が大きい。もし、今後また調査をする機会があったら、期間をもっと長くするとか、やり方等を考えていただけたらと思う。他の団体の方など協力してくださる方がいらっしやっただが、郵送でこれを1件ずつに配るとなるとその経費もかかるし、WEBで皆さんができるかという難しい環境にあたりすることもある。もし今後そういうことがあったら、もう少しどうしたらできるかという相談から始まるほうが、もっと現実的な意見が聞けると思う。せっかくなので調査なのに少し残念に思う。

【会長】

事務局からの返答はあったほうがよろしいか。

【委員】

いいえ。

【会長】

ご要望、ご意見ということで承った。

今回、郵送とかWEB併用で、郵送期間が1か月というのは、一般論として郵送調査だと常識的な期間ではあるが、難病の方だとなかなか難しいので、その辺りの配慮をということである。

【委員】

8ページの「(6) 希望する生活のために必要なこと」について、グループホームが増加していて571室というところで、5年前と比べて2.6倍という話だったが、越谷特別支援学校は、肢体不自由養護学校で医療的ケアを必要とする児童・生徒が多く通っているという現状を踏まえると、越谷市だけではないが、地域に医療的ケア対応ができるグループホームは本当に数少ない。今回のアンケートの中にも、住まいのバリアフリー化、グループホームに関する内容、医療的ケアに関する回答が多くあった。その点について、障がい者計画の策定に際しても、医療的ケアやグループホームのことを踏まえて策定していくことが必要ではないかを感じる。

【会長】

ただ今のご意見を踏まえて障がい者計画の策定に取り組まれるようお願いする。

参考情報として、一般に郵送質問調査と呼ばれるアンケートでは回収率が50%を超えるとまずまず、良いだろうというレベルであり、研究者が実施したりすると10%台ということもあるところで、当事者の回収率52.1%というのはうまくいっているとは解釈している。ただ、ご意見を頂戴したように、対象者に合わせた実施方法というのは今後検討の必要があるだろうということは承知した。

もう1つ、今回、WEB調査と郵送調査を併用しているが、例えば簡便さを優先してWEBだけでやると回収率がぐっと下がると調査会社の方がおっしゃっている。やりやすさに合わせて併用しているというというのは、方法としては、現時点では非常に良い方法かと思う。

(2) 第6次越谷市障がい者計画策定スケジュールについて
事務局より資料3に基づき説明を行った。

質疑等(要旨)

【委員】

パブリックコメントは、今回調査した障がい者団体等の対象者なのか、それとも一般市民が対象なのか。

また、パブリックコメントを配布する場合の対象者はどうなっているか。

【事務局】

パブリックコメントについては、今回のアンケート調査の対象者に限らず、広く市民全体に実施する。

【委員】

それなら安心した。市民の方は障がい者のためのいろいろな事業を実施していることをあまり知らないなので、一般の方からのコメントをいただいたほうがいいと思っていた。

【会長】

パブリックコメントを1か月前倒しにするということで、早めに市民の皆様からご意見を頂戴するのに合わせて、スケジュールも前倒しということで、非常に安心して進められる、見通しが立つ予定ではないかと思う。

それでは、以上で予定されていた議事は終了したので議長の役を降ろさせていただき、進行を事務局にお返しする。

3 その他

事務局から次回会議の開催予定について説明があった。(2025年5月頃)

4 閉会

閉会にあたり、高橋副分科会長より挨拶をいただいた。

(以上)